

Smart at tools for kintone CSV入出力

利用マニュアル



2023年 12月 22日 第17版
M-SOLUTIONS

改訂履歴1

以下、本マニュアルの改訂履歴です。

版数	作成/更新日	改訂要旨
初版	2019.08.09	新規作成
第2版	2019.09.26	入出力データセット仕様の追加
第3版	2019.11.13	画面項目の説明を変更
第4版	2020.09.02	インポート/エクスポート定義の色分け、動作環境の追加、注意事項の追加
第5版	2021.6.30	ログイン、エクスポートマップ、入出力できるkintoneフィールド一覧2の説明を変更。 接続設定の出力と読込、CSV入出力ログをkintoneアプリに保存するの説明を追加。 マシンスペック、注意事項の追記。
第6版	2021.07.06	関連レコード、サブテーブルの非対応を追記。

以下、本マニュアルの改訂履歴です。

版数	作成/更新日	改訂要旨
第7版	2021.11.22	マニュアルフォーマット修正。セキュアアクセスに関する記述を追加。インポート・エクスポート時のオプション追加、添付ファイル・サブテーブルの入出力対応に伴うインポート定義作成・インポートマップ・エクスポートマップ・入出力データセット仕様・制限・注意事項を修正。
第8版	2021.12.06	画像差し替え予定のコメント削除
第9版	2022.01.18	動作環境にWindows Server 2019を追加 ゲストスペースに対応
第10版	2022.03.24	実行スケジュール間隔変更にともない、画像を差し替え。 プライマリーキーの設定なしでデータを追加登録する「新規モード」を追加。

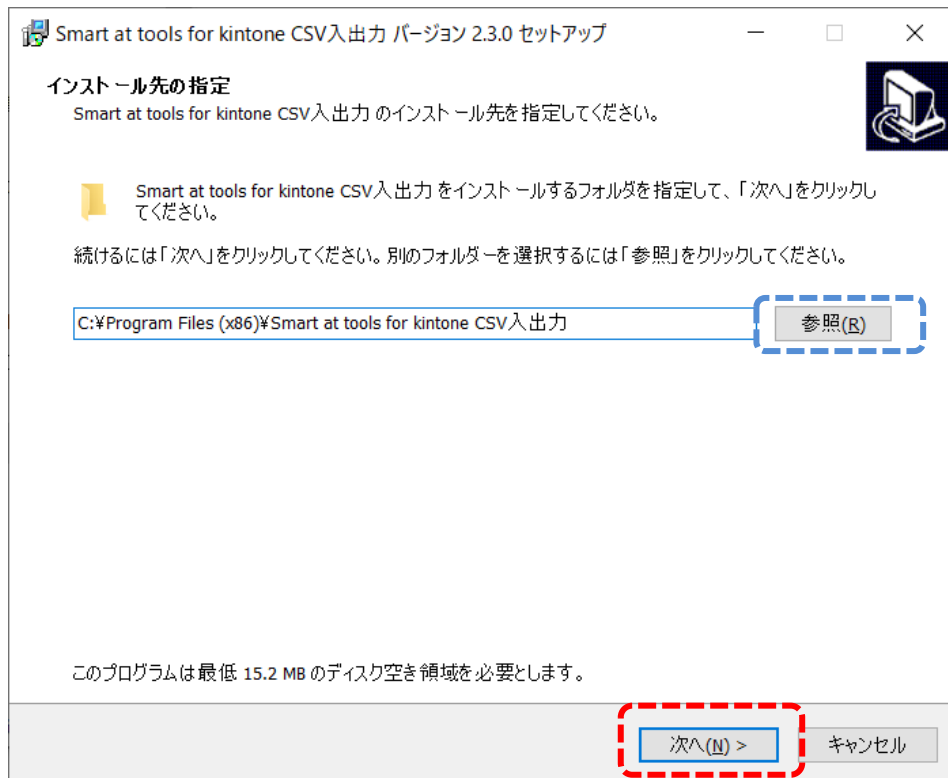
以下、本マニュアルの改訂履歴です。

版数	作成/更新日	改訂要旨
第11版	2022.09.21	動作環境にWindows 11、Windows Server 2022を追加 インストール、実行時のサービス対応の記述を追加 インポート定義作成後のCSVファイル変更の記述を追加 インポート定義のワイルドカード指定の記述を追加 インポート/エクスポート定義のタブ表示の記述を追加
第12版	2022.11.16	注意点の変更
第13版	2023.03.23	定義の変更/削除の説明を追加
第14版	2023.06.14	制限・注意事項1にLGWAN環境への対応状況を追記
第15版	2023.07.25	LGWANは未対応
第16版	2023.12.06	制限・注意事項3にインポートに対する注意書きと、プロキシへの対応状況を追加
第17版	2023.12.22	プロキシサーバー対応

インストール

インストール1

※本製品を新規でインストール、またはアップデートする場合の方法です。



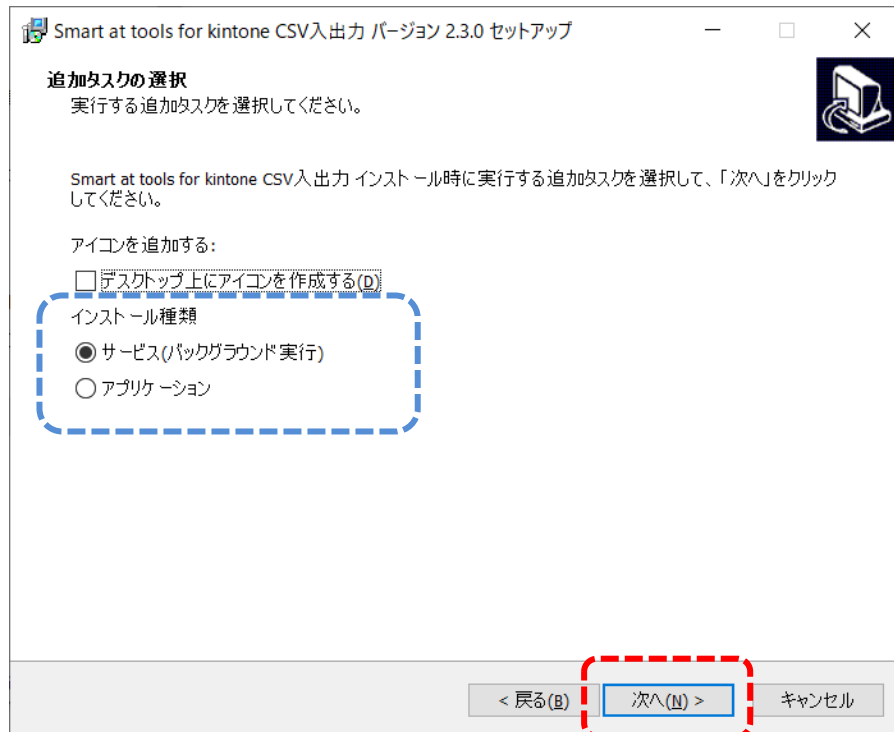
Smart at tools for kintone CSV入出力 Setup.exeをエクスプローラなどからダブルクリックすると、インストーラが起動する。

※アップデートの場合は、インストール先の変更はできず、次ページ以降の画面へ遷移します。

インストール先のフォルダを指定し、「次へ」ボタンを押下する。

※通常はインストール先を変更する必要はありませんが、変更する場合は「参照」ボタンをクリックしインストール先を選択してください。

インストール2



「インストール種類」で以下のいずれかを選択し、「次へ」ボタンを押下する。

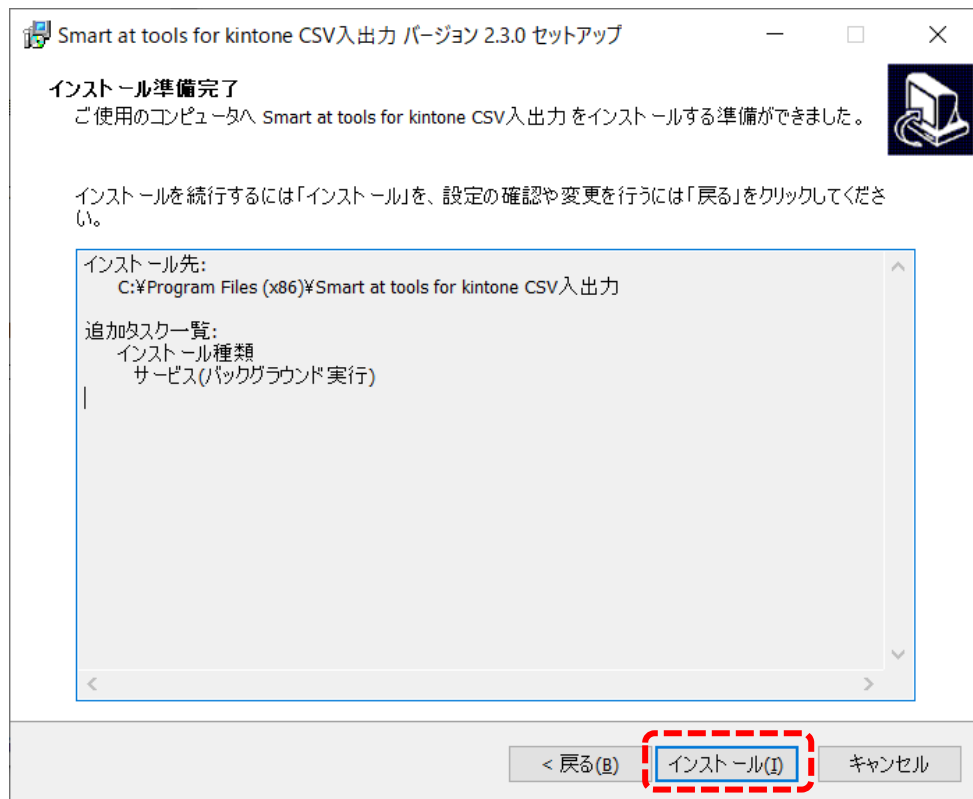
- ・「サービス（バックグラウンド実行）」
アプリがサービスとして実行されるため、インポート／エクスポートのスケジュール実行が定義されている場合、アプリ画面を閉じた状態やOSからログアウトした状態でも実行される。

- ・「アプリケーション」
従来からのインストール方法。
アプリを閉じた状態では、インポート／エクスポートのスケジュール実行が定義されていても実行されない。

※デスクトップ上にアイコンを作成する場合は、「アプリケーション」を選択いただき「アイコンを追加する」にチェックを入れてください。

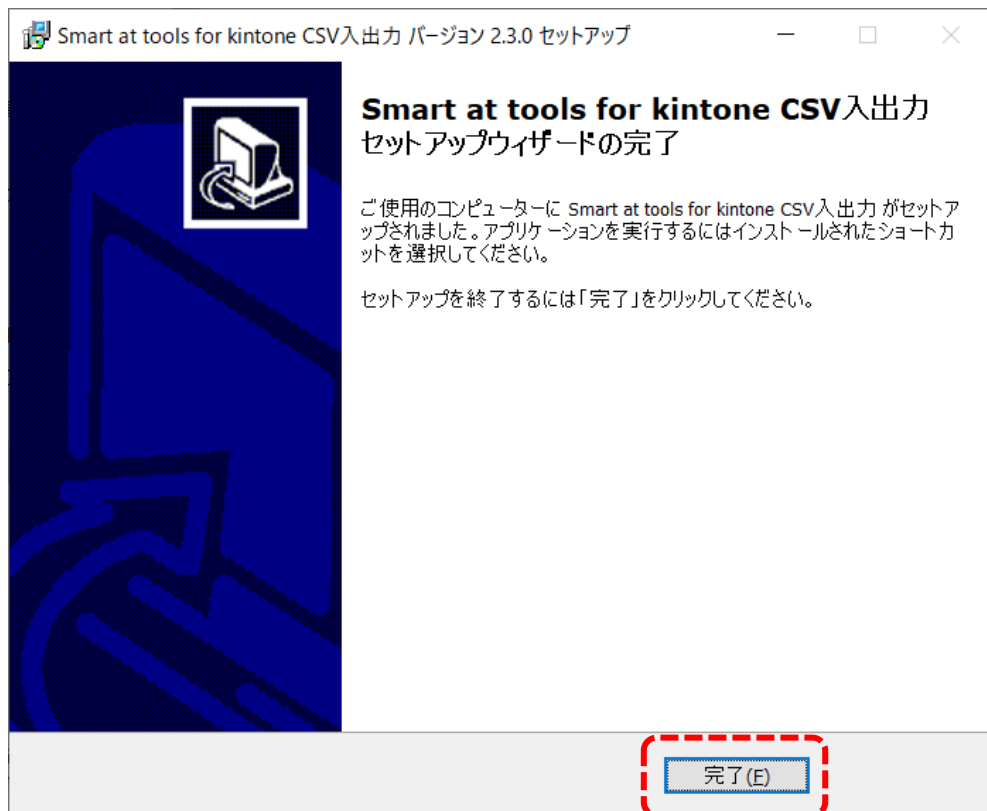
「サービス（バックグラウンド実行）」ではデスクトップ上にアイコンは作成されません。

インストール3



「インストール」ボタンを押下する。

インストール4



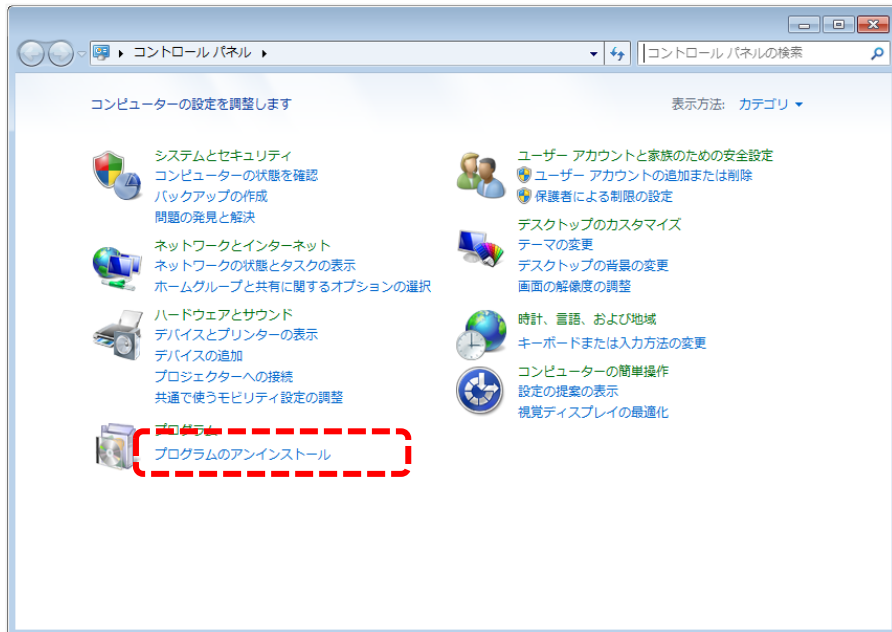
「完了」ボタンを押下する。

以上で本製品のインストールは完了です。

アンインストール

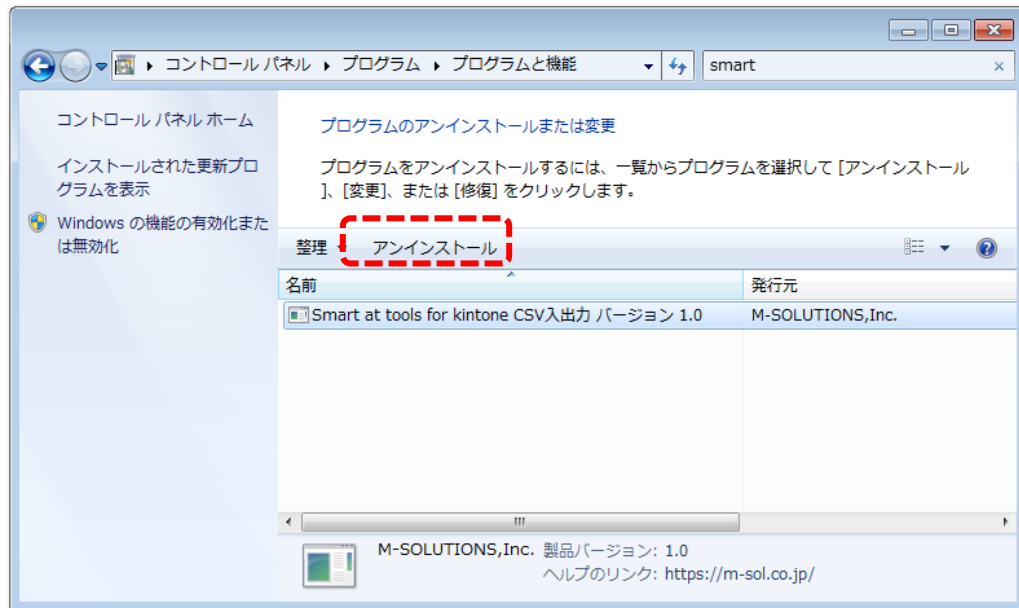
アンインストール1

本製品が不要になり、システムから削除する場合の方法です。



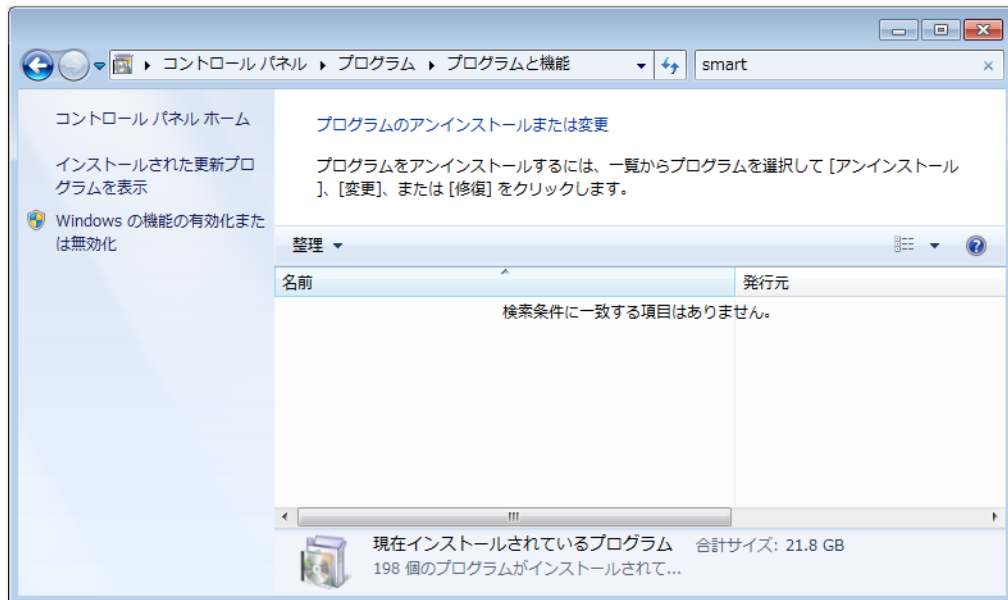
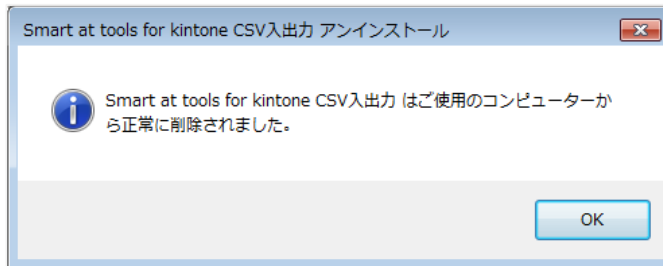
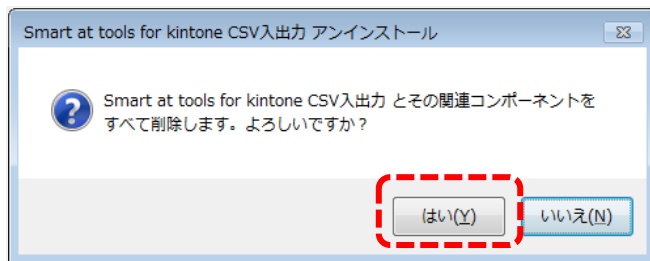
コントロールパネルの「プログラム」、
「プログラムのアンインストール」をクリック
する。

アンインストール2



「Smart at tools for kintone CSV入出力」を選択し、「アンインストール」ボタンを押下する。

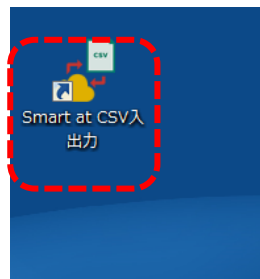
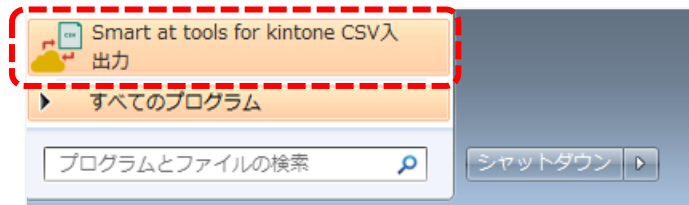
アンインストール3



アンインストール確認画面が出るので、「はい」を押下すると、本製品がアンインストールされる。

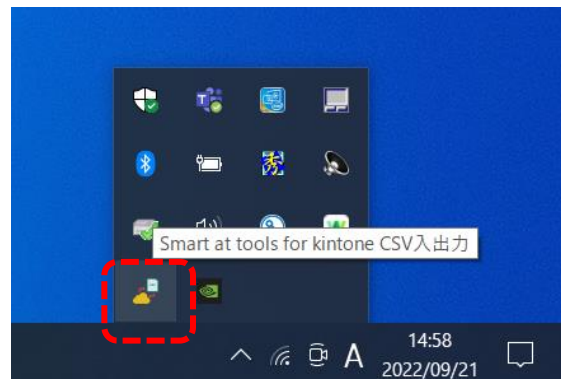
起動とログイン

起動



インストール種類で「アプリケーション」を選択した場合、インストールされたショートカットを選択するか、デスクトップに作成されたSmart at tools for kintone CSV入出力をダブルクリックすると、本製品が起動します。

インストール種類で「サービス」を選択した場合、OS起動時にアプリが自動起動しタスクトレイに常駐するので、画面を表示するにはタスクトレイの「Smart at tools for kintone CSV入出力」アイコンをダブルクリックすると本製品が起動します。



ログイン

1. 初回ログイン

「サブドメイン」にはkintoneのサブドメイン（〇〇〇.cybozu.comの〇〇〇の箇所）を入力してください。「ID」には kintoneのログイン名、「PASSWORD」にはkintoneのパスワードを入力し、「確定」ボタンを押します。

このときプロダクトキーが発行されるので、忘れないように保管してください。プロダクトキーがわからなくなってしまった場合はサポートへお問い合わせいただき、本製品名とサブドメインをお知らせください。

複数アプリで使用する場合、生成されたプロダクトキーをコピーし貼り付けてください。

2. 2回目以降のログイン

「サブドメイン」「ID」「PASSWORD」「初回ログイン時に発行されたプロダクトキー」を入力し、「確定」ボタンを押します。

The image shows a screenshot of the 'kintone接続設定' (Kintone Connection Settings) screen. The form contains the following fields and buttons:

- サブドメイン: [Input field]
- ID: [Input field]
- PASSWORD: [Input field]
- プロダクトキー: [Input field]
- > 高度な設定 (Advanced Settings)
- 設定読込 (Load Settings)
- 設定出力 (Export Settings)
- キャンセル (Cancel)
- 確定 (Confirm)

Four orange callout boxes point to specific fields:

- kintoneのサブドメイン (Kintone Subdomain) - points to the 'サブドメイン' field.
- kintoneのログイン名 (Kintone Login Name) - points to the 'ID' field.
- kintoneのパスワード (Kintone Password) - points to the 'PASSWORD' field.
- プロダクトキー (初回のみ不要) (Product Key (Not required for the first time)) - points to the 'プロダクトキー' field.

The '確定' (Confirm) button is highlighted with a red dashed border.

CSV入出力ログをkintoneアプリに保存する

kintone上にCSV入出力ログ保存用アプリを作成し、接続設定にアプリIDを指定することで、CSV入出力アプリをインストールしたPC以外からもログ情報を確認できます。

アプリテンプレート(CSV入出力ログ.zip)を指定して新規アプリを作成

CSV入出力ログアプリが作成される

ブラウザ画面: <https://dev-msol-202107.cybozu.com/k/95/>

レコード番号	実行日時	ステータス	定義名	行番号	ファイル名
データがありません。					

接続設定の「ログアプリID」にCSV入出力ログアプリのアプリIDを指定する

接続設定の「正常終了したログも出力する」にチェックすると、正常終了時にもCSV入出力ログアプリにログ情報が保存される

プロキシサーバーを設定する

プロキシサーバーを経由してkintoneへ接続する場合は、以下の設定を行います。

kintone接続設定

サブドメイン: dev-msol-202107

ID: msol

PASSWORD: *****

プロダクトキー: 111-4567-89

高度な設定

ログアプリID: 95

正常終了したログも出力する

プロキシサーバーを使う

プロキシアドレス: 123.456.789.1

プロキシポート: 1234

プロキシユーザー: user

プロキシパスワード: *****

設定読み込み 設定出力 キャンセル 確定

プロキシサーバーを使う場合にチェックします。

「プロキシユーザー」、「プロキシパスワード」は任意設定です。プロキシサーバーへアカウント認証する場合に、設定します。

設定情報の出力と読込

接続設定画面で指定した設定情報をテキストファイル(拡張子:json)に保存することができます。別PCにCSV入出力アプリをインストールした場合などに、上記ファイルを読み込むことで、接続設定やインポート/エクスポートの設定を復元することが可能です。

The image shows two windows side-by-side. The left window is the 'kintone接続設定' (Kintone Connection Settings) dialog. It has fields for 'サブドメイン' (Subdomain) with value 'dev-msol-202107', 'ID' with value 'msol', 'PASSWORD' with masked characters, and 'プロダクトキー' (Product Key) with value '111-4567-89'. Below these are advanced settings with checkboxes for 'ログアプリID' (Log App ID) set to 95, '正常終了したログも出力する' (Output logs even when normal completion), 'プロキシサーバーを使う' (Use proxy server), and proxy details (address: 129.456.789.1, port: 1234, user: user, password: masked). At the bottom are buttons for '設定読込' (Load Settings) and '設定出力' (Export Settings). A red arrow points from the '設定出力' button to the right window.

The right window is a text editor showing a JSON file named 'config20210701.json'. The JSON content is as follows:

```
{
  "SubDomain": "dev-msol-202107",
  "ID": "msol",
  "ProductKey": "Y5Z-5G9K-R6",
  "LogAppId": "95",
  "IsOutNormalLog": true,
  "EncryptionPassword": "fn1lzCJE54dIEFu0n838Pz6iYzzi4VMk1B0c9PcModmVt1ck1kVTZ4TUXv0s",
  "ImportDefinitionModelList": [
    {
      "DefinitionId": 1,
      "ImportDefinitionDetailSeq": 1,
      "ExecuteType": "インポート01",
      "ImportOrExportFile": "C:\\Y\\Data\\Y\\Projects\\Y\\PluginDistSite\\Y\\svn\\Y\\imp_exp_tool\\Y\\S05_試験\\Y\\S05_03_外部結合テスト\\Y\\S05_03_01_0Aテスト_202106\\Y\\テストデータ\\Y\\S05_03_01_02_新規動作確認_インポート_100.csv",
      "AppId": "94",
      "AppName": "0A_02_01_新バージョン_インポート",
      "IsUsedHead": true,
      "ImportDetailList": [
        {
          "ImportDefinitionId": 1,
          "ImportDefinitionDetailSeq": 1,
          "FieldNameFrom": "No01",
          "FieldNameTo": "No",
          "FieldCodeTo": "No01",
          "IsPkey": false,
          "IsRequired": true,
          "FieldType": "NUMBER"
        }
      ]
    },
    {
      "ImportDefinitionId": 1,
      "ImportDefinitionDetailSeq": 2,
      "FieldNameFrom": "文字列02",
      "FieldNameTo": "文字列",
      "FieldCodeTo": "文字列02",
      "IsPkey": false,
      "IsRequired": true,
      "FieldType": "TEXT"
    }
  ]
}
```

Two orange callout boxes provide additional information:

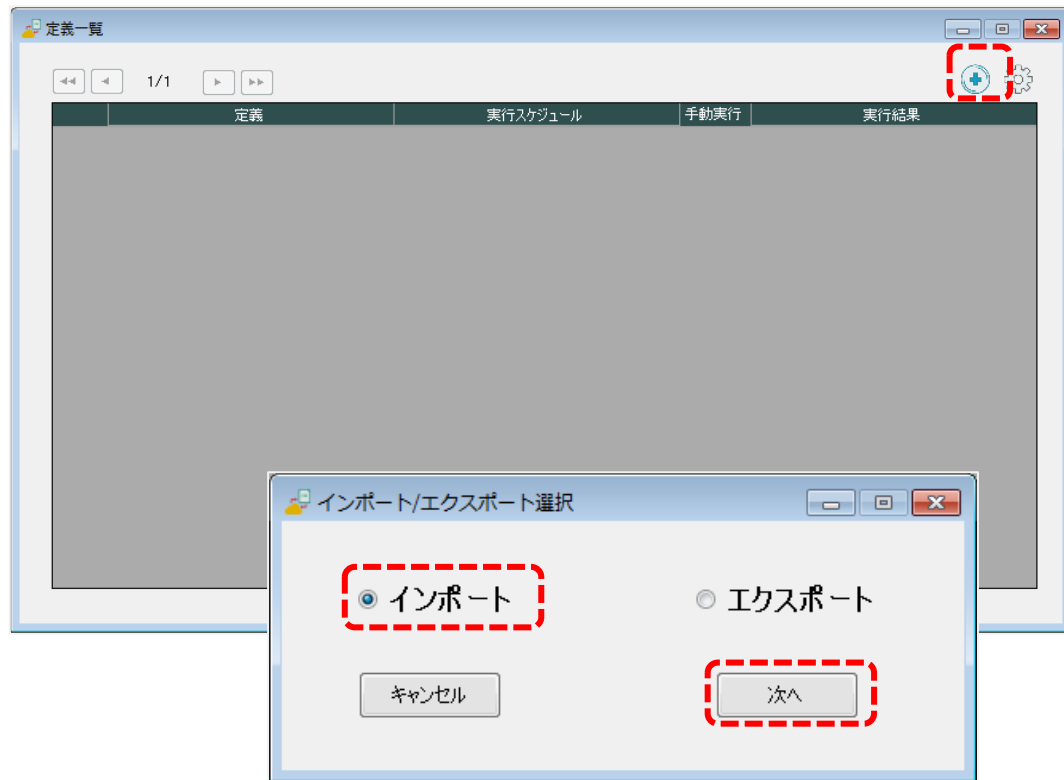
- A box at the top right says: **接続設定 (パスワードは暗号化されます)** (Connection Settings (passwords are encrypted)).
- A larger box on the right side says: **以下、インポート/エクスポート設定** (Below, Import/Export Settings).

A red dashed box highlights the '設定読込' and '設定出力' buttons in the settings window and the corresponding JSON content in the text editor.

設定出力: 設定内容をファイルに出力します
設定読込: 設定ファイルを読み込んで設定を復元します

インポート

インポート/エクスポート選択（インポート）



定義一覧画面の⊕ボタンを押下し、
インポート/エクスポート選択画面を表示する。

インポートを選択し、次へボタンを押下する。

インポート定義作成

インポート定義作成

インポートファイル: 参照...

複数ファイルの指定は、ファイル名にワイルドカード(*, ?)を利用できます

区切り文字:

アプリ名: 参照...

先頭行をフィールド名として使う

キャンセル 戻る 次へ

インポート

インポートファイル	インポートするCSVまたはTXTファイルを指定します。
区切り文字	インポートファイルで選択したファイルがTXTファイルの場合は「タブ」が、それ以外の場合は「コンマ」が自動で選択されます。手動で変更可能です。
アプリ名	インポート対象のkintoneアプリを指定します。
先頭行をフィールド名として使う	インポートファイルの先頭行がフィールド名の場合にチェックを入れます。

「インポートファイル」「区切り文字」「アプリ名」を選択し、必要に応じて「先頭行をフィールド名として使う」を指定して、次へボタンを押下する。

インポートマップ1 (インポート元)

インポートマップ

定義名:

インポート元 インポート先 明細設定 高度な設定

From【インポート元】

ファイル名: 参照...

複数ファイルの指定は、ファイル名にワイルドカード(*, ?)を利用できます

キャンセル 戻る インポート 定義保存

定義名

定義名を表示します。
新規の場合、定義保存時に命名するため表示されません。

From【インポート元】ファイル名

インポートするCSVファイルが表示されます。

新規または編集時に、参照ボタンをクリックしてファイル名を変更できます。

また、ファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用することで、条件に一致する複数のファイルをインポートすることができます。

(例)

C:\Temp*.csv

⇒C:\Tempフォルダに属する拡張子がcsvのファイル

C:\Temp\A???.csv

⇒C:\Tempフォルダに属する、頭文字がAの後に3文字のファイル(A001.csv, A100.csvなど)

インポートマップ2 (インポート先)

インポートマップ

定義名:

インポート元 インポート先 明細設定 高度な設定

To【インポート先】

アプリ名(アプリID):

区切り文字:

キャンセル 戻る インポート 定義保存

To【インポート先】

アプリ名

インポート対象のkintoneアプリが表示されます。

区切り文字

インポートファイルの区切り文字が表示されます。

インポートマップ3 (明細設定)

インポートマップ

定義名:

インポート元 インポート先 明細設定 高度な設定

	CSVフィールド名 (FROM)	kintoneフィールド名 (TO)	pkey	必須
1	項目 01 (文字列 1行)	項目 01 (文字列 1行)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	項目 02 (数値)	項目 02 (数値)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	項目 03 (日付)	項目 03 (日付)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	項目 04 (日時)	項目 04 (日時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	項目 05 (文字列 複数行)	項目 05 (文字列 複数行)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

キャンセル 戻る インポート 定義保存

マッピング表

CSVフィールド名 (FROM)

インポート元となるCSVのフィールド名を指定し、紐付けを行います。

kintoneフィールド名 (TO)

インポート先のkintoneフィールド名が表示されます。

pkey

プライマリーキーを設定します。インポート先のアプリが「値の重複を禁止する」と設定されていない場合、プライマリーキーとして指定できません。

● **プライマリーキー設定あり**

新規モードON: 新規登録

新規モードOFF: プライマリーキーによる更新

● **プライマリーキー設定なし**

新規モードON: 新規登録

新規モードOFF: 置き換え(削除新規登録)

必須

インポート先のkintoneフィールドが必須項目の場合にチェックします。

インポートマップ4 (高度な設定)

インポートマップ

定義名:

インポート元 インポート先 明細設定 **高度な設定**

インポート後ファイルを退避
 参照...

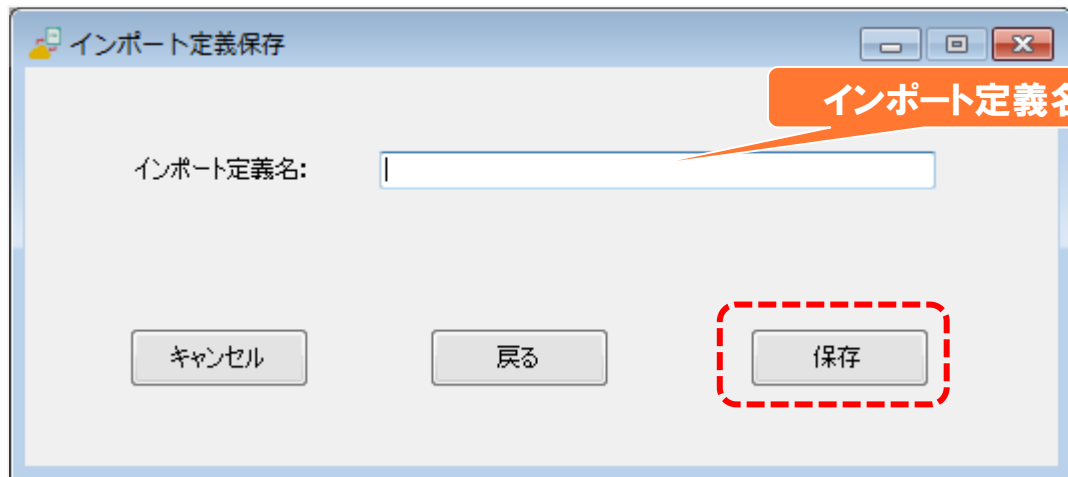
添付ファイル入力元フォルダ
 参照...

新規モード

キャンセル 戻る インポート 定義保存

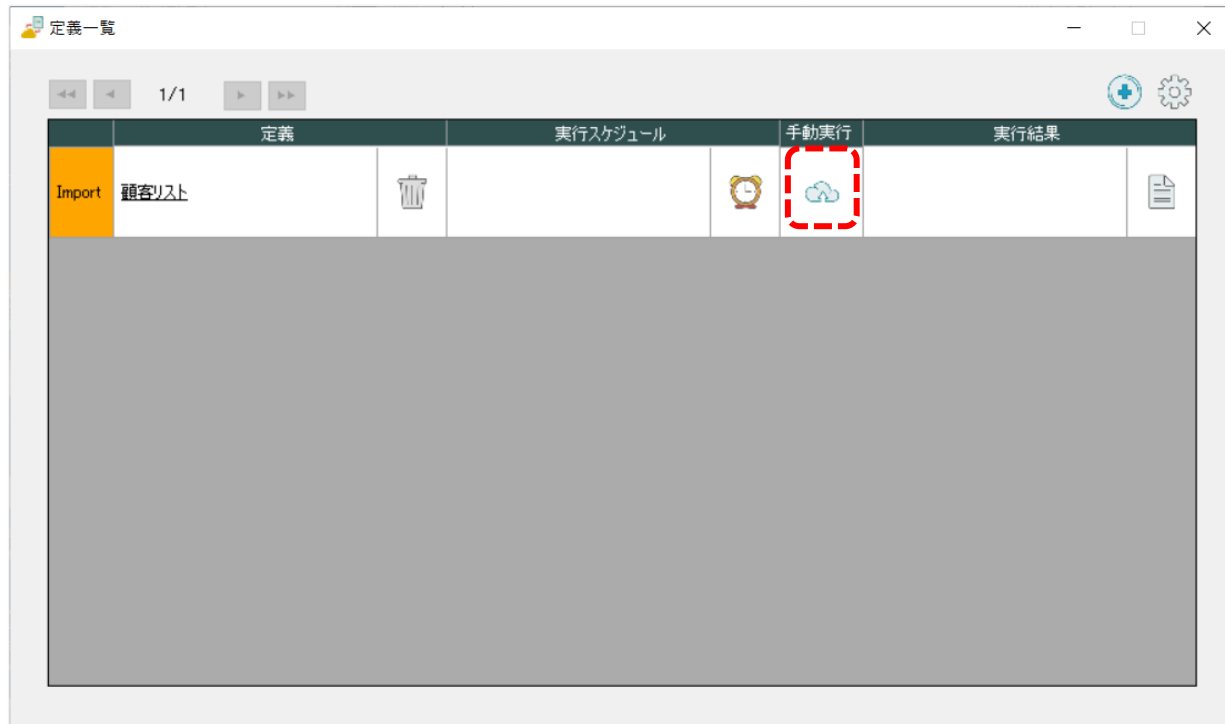
高度な設定	インポート後ファイルを退避	インポート後に入力用CSVファイルを別の場所に保存する場合にチェックします。
	添付ファイル入力元フォルダ	添付ファイルの入力元フォルダを指定します。
	新規モード	選択すると、レコードの取得処理行わずにレコードを追加します。

インポート定義保存



任意の「インポート定義名」を入力し、
保存ボタンを押下する。

インポート実行（即時）



定義一覧画面に表示されている
インポート定義のレコードの、
即時実行アイコンを押下する。

インポート実行（タイマー）

The screenshot shows a software interface with a main window titled '定義一覧' (Definition List) and a modal dialog box titled '実行スケジュール設定' (Execution Schedule Setting).

The main window displays a table with the following columns: '定義' (Definition), '実行スケジュール' (Execution Schedule), '手動実行' (Manual Execution), and '実行結果' (Execution Result). The first row is for 'Import 顧客リスト' (Import Customer List). A red dashed box highlights the clock icon in the '実行スケジュール' column.

The '実行スケジュール設定' dialog box contains the following text and controls:

※1つの定義で、月次、週次、日次を同時に登録することはできません。表示されているタブの入力値が登録されます。

月次 週次 日次

実行日時1: 毎月 日 :

実行日時2: 毎月 日 :

実行日時3: 毎月 日 :

実行日時4: 毎月 日 :

実行日時5: 毎月 日 :

Buttons: キャンセル (Cancel), 登録 (Register)

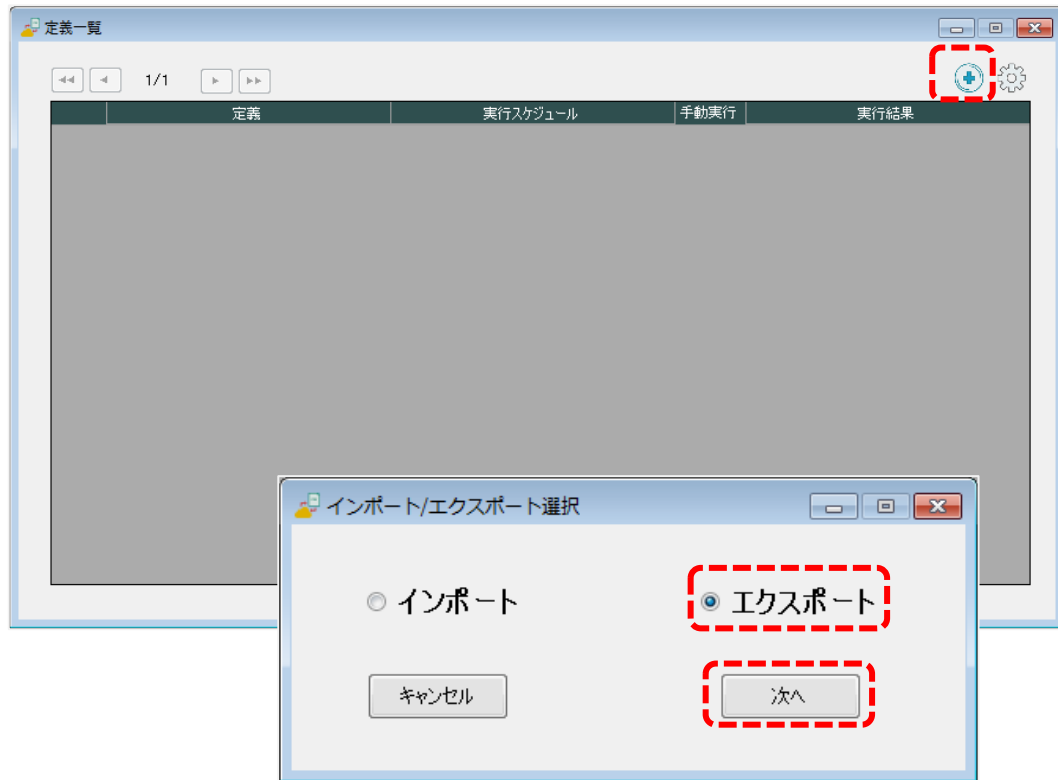
定義一覧画面に表示されているインポート定義のレコードの、タイマーアイコンを押下する。

実行スケジュール画面にて、インポートするスケジュールを設定する。

1つの定義で、月次、週次、日次を同時に登録することはできません。

エクスポート

インポート／エクスポート選択（エクスポート）



定義一覧画面の⊕ボタンを押下し、
インポート／エクスポート選択画面を表示する。

エクスポートを選択し、次へボタンを押下する。

エクスポート定義作成

エクスポート定義作成

アプリ名: 参照…

出力先フォルダ: 参照…

キャンセル 戻る 次へ

エクスポート

アプリ名	エクスポート対象のkintoneアプリを指定します。
出力先フォルダ	エクスポートするCSVファイルの出力先を指定します。

「エクスポート元のアプリ名」「出力先フォルダ」を選択し、次へボタンを押下する。

エクスポートマップ1 (エクスポート元)

エクスポートマップ

定義名:

エクスポート元 | エクスポート先 | 明細設定 | 高度な設定

From【エクスポート元】

アプリ名(アプリID):

キャンセル 戻る エクスポート 定義保存

定義名

定義名を表示します。
新規の場合、定義保存時に命名するため表示されません。

**From【エクスポート元】
アプリ名**

エクスポート対象のアプリ名が表示されます。

エクスポートマップ2 (エクスポート先)

エクスポートマップ

定義名:

エクスポート元 [エクスポート先] 明細設定 高度な設定

To【エクスポート先】

出力先フォルダ:

ファイル名:

拡張子: 区切り文字:

エンコード:

キャンセル 戻る エクスポート 定義保存

「To【エクスポート先】」

出力先フォルダ

エクスポート先の出力フォルダパスが表示されます。

ファイル名

エクスポートファイル名を、アプリ名、アプリID、出力日時を用いて指定します。初期設定は「%%アプリ名%%_%%出力日時%%」です。

拡張子

エクスポートファイルの拡張子を、csvとtxtから選択します。

区切り文字

拡張子で「csv」を選択すると「コンマ」が、「txt」を選択すると「タブ」が設定されます。手動変更可能で、「csv」と「タブ」、「txt」と「コンマ」の組み合わせも可能です。

エンコード

エクスポートファイルのエンコードを、Shift-JIS、EUC、UTF-8、先頭にBOMヘッダをつけてExcelで開けるUTF-8から指定します。

エクスポートマップ3（明細設定）

エクスポートマップ

定義名:

エクスポート元 エクスポート先 明細設定 高度な設定

全選択

	kintone フィールド名 (FROM)	出力	CSV フィールド名 (TO)
1	レコード番号	<input checked="" type="checkbox"/>	レコード番号
2	更新者	<input checked="" type="checkbox"/>	更新者
3	作成者	<input checked="" type="checkbox"/>	作成者
4	更新日時	<input checked="" type="checkbox"/>	更新日時
5	作成日時	<input checked="" type="checkbox"/>	作成日時

キャンセル 戻る エクスポート 定義保存

マッピング表

全選択

すべてのフィールドに対し「出力」をチェックします。

kintoneフィールド名 (FROM)

エクスポート元のkintoneアプリフィールド名が表示されます。

出力

エクスポートするフィールドに対しチェックすることで、出力対象となります。

CSVフィールド名 (TO)

エクスポート先のCSVフィールド名が表示されます。

エクスポートマップ4（高度な設定）

エクスポートマップ

定義名:

エクスポート元 エクスポート先 明細設定 **高度な設定**

絞り込み条件

添付ファイル出力先フォルダ
 参照...

日付フォルダ (yyyyMMddHHmmss) を作成する。 日時をISO形式で出力する

キャンセル 戻る エクスポート 定義保存

高度な設定

絞り込み条件

エクスポート対象のレコードの絞り込み条件を指定できます。絞り込み条件の指定方法については以下のリンク先をご確認ください。

[Kintone APIのクエリの書き方の基本](#)

添付ファイル出力先フォルダ

添付ファイルの出力先フォルダを指定します。

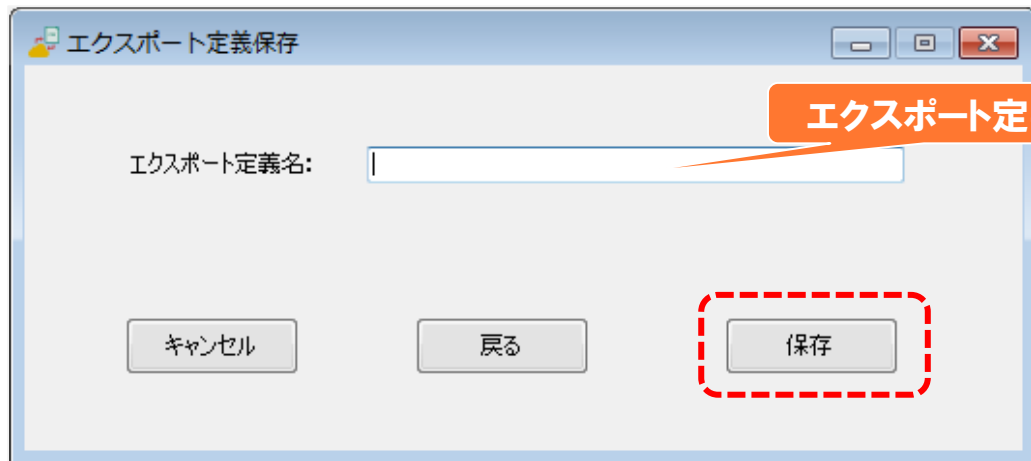
日付フォルダ (yyyyMMddHHmmss) を作成する。

チェックを入れると、日付フォルダを作成し、その中に添付ファイルを出力します。

日時をISO形式で出力する

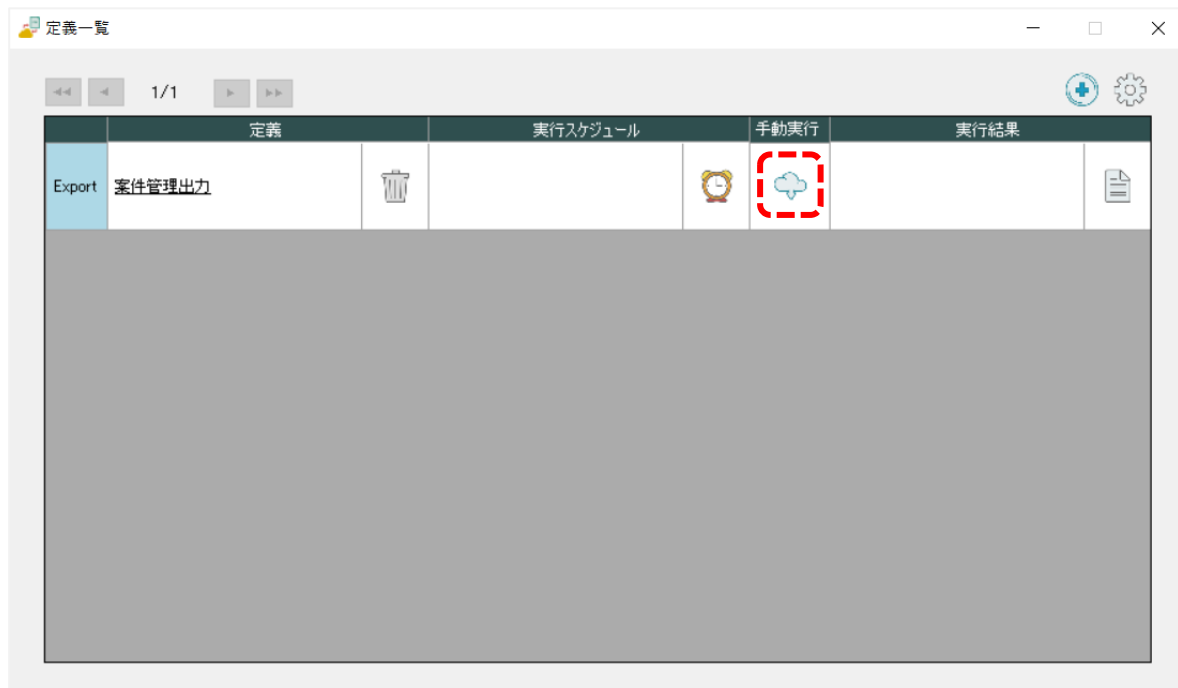
初期設定で日時は“yyyy/MM/dd HH:mm:ss”フォーマットで出力しますが、チェックを入れるとkintoneで読み込み可能な“yyyy-MM-dd 'T' HH:mm:ssZZ”フォーマット(例:2021-10-22T17:00:00+09:00)で出力します。

エクスポート定義保存



任意の「エクスポート定義名」を入力し、
保存ボタンを押下する。

エクスポート実行（即時）



定義一覧画面に表示されている
エクスポート定義のレコードの、
即時実行アイコンを押下する。

エクスポート実行（タイマー）

定義一覧

1/1

定義 実行スケジュール 手動実行 実行結果

Export 案件管理出力

実行スケジュール設定

※1つの定義で、月次、週次、日次を同時に登録することはできません。表示されているタブの入力値が登録されます。

月次 週次 日次

実行日時1: 毎月 日 :

実行日時2: 毎月 日 :

実行日時3: 毎月 日 :

実行日時4: 毎月 日 :

実行日時5: 毎月 日 :

キャンセル 登録

定義一覧画面に表示されているエクスポート定義のレコードの、タイマーアイコンを押下する。

実行スケジュール画面にて、エクスポートするスケジュールを設定する。

1つの定義で、月次、週次、日次を同時に登録することはできません。

インポート・エクスポート結果の確認

結果の確認

インポート・エクスポートの実行結果は、
定義一覧画面に表示されているインポート・エクスポート定義の詳細アイコンから確認できる。

	定義		実行スケジュール	手動実行	実行結果	
Import	顧客リストアプリデータ入力				2020/09/03 11:05:32 OK	
Export	案件管理出力				2020/09/03 10:59:46 OK	

結果OKのログ

定義一覧

	定義		実行スケジュール	手動実行	実行結果	
Import	顧客リストアップデータ入力				2020/09/03 11:08:19 NG	
Export	案件管理出力				2020/09/03 10:59:46 OK	

エクスポートログ一覧

案件管理出力

実行時間	件数	実行結果	
2020/09/03 10:59:46	188	OK	

ログ一覧画面で実行時間や
実行完了した件数を確認できる

エラーログ詳細

定義名: 案件管理出力

行番号	日時	ファイル名	ログ内容
-----	----	-------	------

エラーログ詳細画面に
エラーログは表示されない

結果NGのログ

定義一覧

	定義		実行スケジュール	手動実行	実行結果	
Import	顧客リストアップデータ入力				2020/09/03 11:08:19 NG	
Export	案件管理出力				2020/09/03 10:58:46 OK	

インポートログ一覧

顧客リストアップデータ入力

表示

実行時間	件数(成功)	件数(エラー)	実行結果	
2020/09/03 11:08:19	0	5	NG	
2020/09/03 11:05:32	5	0	OK	

閉じる

ログ一覧画面で実行時間やエラーの起きた件数を確認できる

エラーログ詳細

定義名: 顧客リストアップデータ入力

行番号	日時	ファイル名	ログ内容
1	2020/09/03 11:08:19	C:\work_tools\smart-at tools for CSV入出力\メールボックス田崎@I	ラジオボタンは必須項目です。
2	2020/09/03 11:08:19	C:\work_tools\smart-at tools for CSV入出力\メールボックス田崎@I	ラジオボタンは必須項目です。
3	2020/09/03 11:08:19	C:\work_tools\smart-at tools for CSV入出力\メールボックス田崎@I	ラジオボタンは必須項目です。
4	2020/09/03 11:08:19	C:\work_tools\smart-at tools for CSV入出力\メールボックス田崎@I	ラジオボタンは必須項目です。
5	2020/09/03 11:08:19	C:\work_tools\smart-at tools for CSV入出力\メールボックス田崎@I	ラジオボタンは必須項目です。

エラーログ詳細画面にエラー詳細が表示される

定義の変更/削除

定義を変更/削除する

ツールを起動後、定義一覧から作成済みの定義をクリックすることで、定義の変更が可能です。
また、定義を削除する場合は、バケツのアイコンをクリックして下さい。

The screenshot shows the '定義一覧' (Definition List) window with a table of definitions. The 'Export' row is highlighted with a red dashed box, and a red arrow points to the 'エクスポートマップ' (Export Map) dialog box. An orange callout bubble contains the text: **バケツのアイコンをクリックすると定義を削除します** (Clicking the bucket icon deletes the definition).

	定義	
Import	納入先参照インポート	
Export	納入先参照エクスポート	

エクスポートマップ

定義名:

エクスポート元 エクスポート先 詳細設定 高度な設定

From【エクスポート元】

アプリ名(アプリID):

キャンセル 戻る エクスポート 定義保存

入出カードデータセット仕様

入出力できるkintoneフィールド一覧1

カテゴリ	フィールド	インポート可	エクスポート可	入出力フォーマット等
テキスト	文字列（1行）	○	○	
	文字列（複数行）	○	○	
	リッチエディター	○	○	
	数値	○	○	
計算	計算	×	○	
日時	日付	○	○	yyyy-MM-dd または yyyy/MM/dd
	時刻	○	○	HH:mm
	日時	○	○	yyyy/MM/dd HH:mm:ss または yyyy-MM-dd 'T' HH:mm:ssZZ

入出力できるkintoneフィールド一覧2

カテゴリ	フィールド	インポート可	エクスポート可	入出力フォーマット等
選択肢	ラジオボタン	○	○	詳細は後述
	チェックボックス	○	○	
	複数選択	○	○	
	ドロップダウン	○	○	
	ユーザー選択	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・cybozu.com共通管理で設定済みの値 ・改行コードにより複数の値をインポートすることが可能です。
	組織選択	○	○	
	グループ選択	○	○	
URL、電話番号、メールアドレス	リンク	○	○	詳細は後述
ファイル	添付ファイル	○	○	

入出力できるkintoneフィールド一覧3

カテゴリ	フィールド	インポート可	エクスポート可	入出力フォーマット等
アプリ間の連携	ルックアップ	○	○	重複禁止項目のみインポート可
	関連レコード一覧	×	×	
レコード情報	レコード番号	自動採番	○	
	作成者	自動入力	○	
	作成日時	自動入力	○	yyyy/MM/dd HH:mm:ss または yyyy-MM-dd 'T' HH:mm:ssZZ
	更新者	自動入力	○	
	更新日時	自動入力	○	yyyy/MM/dd HH:mm:ss または yyyy-MM-dd 'T' HH:mm:ssZZ
その他	サブテーブル	○	○	

入出力フォーマット（ラジオボタン）

インポート先アプリの設定画面にてフォームタブでラジオボタンの項目に設定した値のみがインポート可能です。

下図の場合、「sample1」または「sample2」のみインポートできます。

◎ ラジオボタンの設定

フィールド名 *

ラジオボタン

フィールド名を表示しない

項目と順番

sample1

sample2

フォームの設定とインポートファイル作成例

ラジオボタン
sample2

入出力フォーマット（チェックボックス）

インポート先アプリの設定画面にてフォームタブでチェックボックスの項目に設定した値と、csvファイルが下図の場合、「sample2」「sample3」がインポートされます。

チェックボックスの設定

フィールド名 *

チェックボックス

フィールド名を表示しない

必須項目にする

項目と順番

<input type="checkbox"/>	sample1	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	sample2	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	sample3	<input type="checkbox"/>

フォームの設定とインポートファイル作成例

チェックボックス[sample1]	チェックボックス[sample2]	チェックボックス[sample3]
	1	1

入出力フォーマット（複数選択）

インポート先アプリの設定画面にてフォームタブで複数選択の項目に設定した値と、csvファイルが下図の場合、「sample1」と「sample2」がインポートされます。

☰ 複数選択の設定

フィールド名 *

複数選択

フィールド名を表示しない

必須項目にする

項目と順番

▼	<input type="checkbox"/>	sample1		+	-
▼	<input type="checkbox"/>	sample2		+	-
▼	<input type="checkbox"/>	sample3		+	-
▼	<input type="checkbox"/>	sample4		+	-

フォームの設定とインポートファイル作成例

複数選択[sample1]	複数選択[sample2]	複数選択[sample3]	複数選択[sample4]
1	1		

入出力フォーマット（ドロップダウン）

インポート先アプリの設定画面にてフォームタブでドロップダウンの項目に設定した値のみがインポート可能です。

下図の場合、「sample1」または「sample2」のみインポートできます。

☰ ドロップダウンの設定

フィールド名 *

ドロップダウン

フィールド名を表示しない

必須項目にする

項目と順番

▼	sample1	+	-
▼	sample2	+	-

フォームの設定とインポートファイル作成例

ドロップダウン
sample2

入出力フォーマット（リンク）

リンク(Webサイトのアドレス)の場合、「http://」または「https://」で始まるアドレスだけを入力できます。

リンク(メールアドレス)の場合、次の形式のメールアドレスだけを入力できます。

(ローカル部)@(ドメイン)

例:user@example.com

入出力フォーマット（添付ファイルのインポート）

インポートマップの高度な設定と、添付ファイル配置パス・インポートファイルの関係は以下の通りです。

添付ファイル 入力元フォルダ 設定あり	添付ファイルの配置パス例	インポートファイル作成例
×	<例1> (From[インポート元]ファイルのあるフォルダ)/ 添付ファイル-0/添付.txt	<例1> 添付ファイル-0/添付.txt
	<例2> (From[インポート元]ファイルのあるフォルダ)/ 20211119134834/添付ファイル-0/添付.txt	<例2> 20211119134834/添付ファイル-0/添付.txt
○	<例1> (添付ファイル入力元フォルダ)/添付ファイル- 0/添付.txt	<例1> 添付ファイル-0/添付.txt
	<例2> (添付ファイル入力元フォルダ)/ 20211119134834/添付ファイル-0/添付.txt	<例2> 20211119134834/添付ファイル-0/添付.txt

添付ファイル
添付ファイル-0/添付.txt

添付ファイル
20211119134834/添付ファイル-0/添付.txt

入出力フォーマット（添付ファイルのエクスポート）

エクスポートマップの高度な設定と、添付ファイル配置パス・エクスポートファイルの関係は以下の通りです。

添付ファイル出力先フォルダ設定あり	「日付フォルダを作成する」にチェックあり	添付ファイルの配置パス例	エクスポートファイル作成例
×	×	(To[エクスポート先]出力先フォルダ)/添付ファイル-0/添付.txt	添付ファイル-0/添付.txt
×	○	(To[エクスポート先]出力先フォルダ)/20211119134834/添付ファイル-0/添付.txt	20211119134834/添付ファイル-0/添付.txt
○	×	(添付ファイル出力先フォルダ)/添付ファイル-0/添付.txt	添付ファイル-0/添付.txt
○	○	(添付ファイル出力先フォルダ)/20211119134834/添付ファイル-0/添付.txt	20211119134834/添付ファイル-0/添付.txt

添付ファイル
添付ファイル-0/添付.txt

添付ファイル
20211119134834/添付ファイル-0/添付.txt

入出力フォーマット（サブテーブル）

サブテーブルを含むアプリのインポート・エクスポートファイル



* サブフィールドA	フィールドB
* サブフィールドAの値	フィールドBの値

※サブテーブルを含むアプリではファイル先頭列に「*」がつき、サブテーブルのフィールドと非サブテーブルのフィールドの表示は変わりません。

サブテーブルを含まないアプリのインポート・エクスポートファイル



フィールドC	フィールドD
フィールドCの値	フィールドDの値

入出力フォーマット（サブテーブル）

アプリレコードとサブテーブルレコードの出力結果

テーブル	テーブル	テーブル
サブフィールドA	サブフィールドA	サブフィールドA
111	444	
222	555	
333	666	
フィールドB	フィールドB	フィールドB
あいうえお	かきくけこ	さしすせそ

- 先頭列に「*」がついている行はアプリのレコードです
- サブテーブルのレコードが3行あるアプリのレコードは先頭列に「*」がついている行の後に、「*」がついていない行が2行出力されます

A1				*
	A	B	C	D
1	*	サブフィールドA	フィールドB	
2	*	111	あいうえお	
3		222		
4		333		
5	*	444	かきくけこ	
6		555		
7		666		
8	*		さしすせそ	
9				

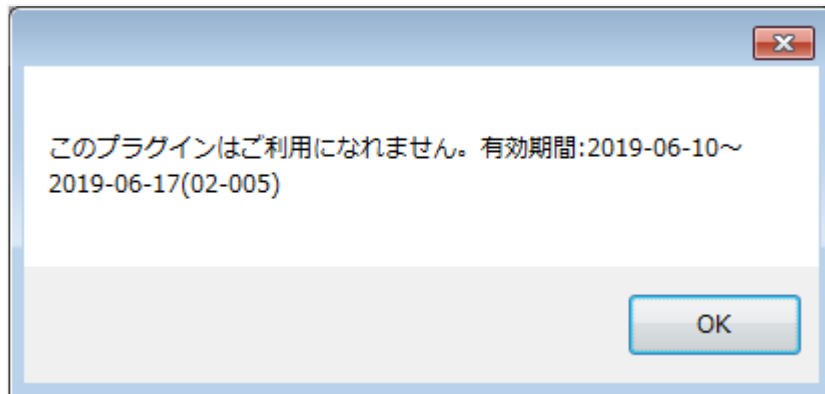
kintoneフィールドの入力制限

kintone自体のフィールドの入力制限については、下記URLをご参照ください。

https://jp.cybozu.help/k/ja/user/app_settings/form/form_parts/field_restriction.html

期限切れについて

トライアル期限や、契約期日を超過してご利用の場合、kintone接続時や定義作成時に下記ダイアログが表示され本製品を利用することができません。
その場合、本製品を削除するか、ご契約の更新をお願いいたします。



動作環境

<動作確認済みの環境>

OS

- Windows 7、Windows 10、Windows 11
- Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows Server 2022

Windows コンポーネント

- Microsoft .Net Framework4.7.2

マシンスペック

- Corei5 メモリ8GB 以上

制限・注意事項

制限・注意事項1

<対応しているCSVのエンコード>

- UTF-8
- Shift-JIS
- EUC

<注意事項>

- インポートできるCSVの件数は、10万件までです。
- 同時実行できる定義の登録は3件までです。
- スケジュール登録しても当ツールを終了してしまうと、定義が実行されません。当ツールは起動中のままにしてください。
- 数万件のCSVをインポートまたはエクスポートする場合、動作環境や項目数、項目値によってはエラーが発生する場合があります。件数を減らすか、実行間隔にゆとりをもって実行してください。
- ゲストスペースに対応しています。
- モバイル端末に対応していません。
- SAML認証に対応していません。
- LGWAN環境に対応していません。
- kintone環境では1日に実行できるAPIリクエスト数の上限がありますので、100件単位で追加や更新を行っています。エラーが発生した場合は100件単位で追加や更新が行われません。
- セキュアアクセスは、IPアドレス制限でIPが許可されている場合のみ利用可能です。

制限・注意事項2

- ・プライマリーキーの設定がない場合、インポートでエラーが発生するとデータは全件削除された状態になります。
 - ・プロキシサーバーを経由して、kintoneのインポート/エクスポートを行うことができます。
 - ・実行中またはエラーで中断しますと、次回の実行時、処理中にエラーとなります。24時間経過すれば実行することができます。
- また、新しく定義ファイルを作成することで、実行することが可能です。

制限・注意事項3

- ・エクスポート時、kintoneアプリ名にファイル名に使用できない文字(¥, ?, *など)が含まれ、エクスポートファイル名にアプリ名が含まれる場合、エクスポートファイル名では半角アンダーバー(_)に置換されます。

エクスポートマップ

定義名:

From【エクスポート元】

アプリ名(アプリID): ¥と?と*が入ったアプリ(775)

To【エクスポート先】

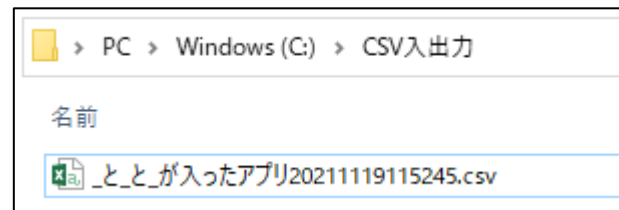
出力先フォルダ: C:\CSV入出力

ファイル名: %%アプリ名%%_%%出力日時%%

拡張子: csv 区切り文字: コンマ

エンコード: Shift_JIS

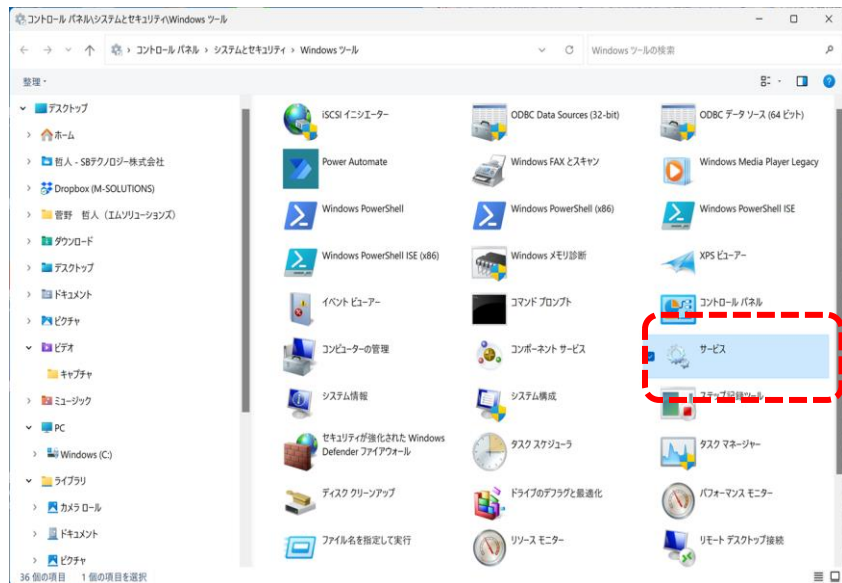
エクスポートマップの設定とエクスポートファイル例



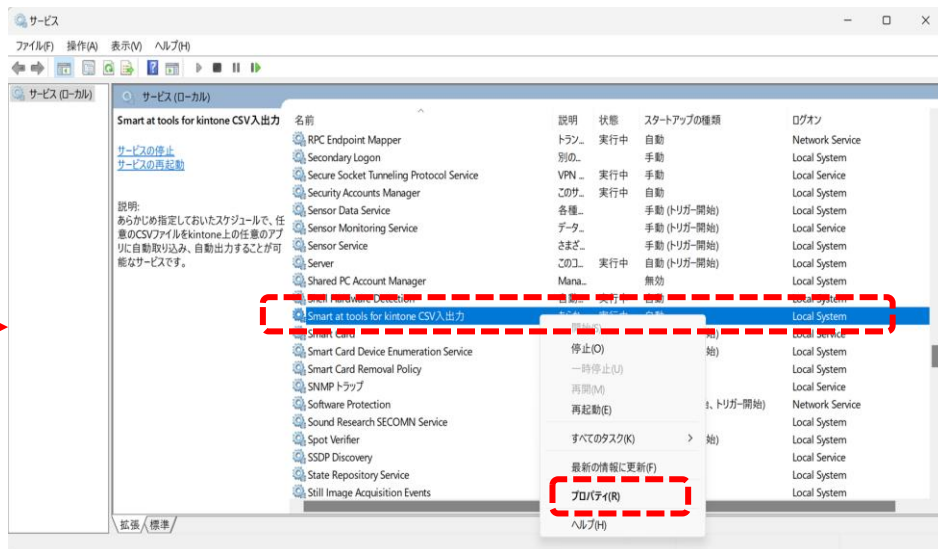
制限・注意事項4

・「サービス(バックグラウンド実行)」でインストールし、スケジュールを設定した際に、ユーザーの権限がなくツールが動作しない場合があります。特にアクティブディレクトリをご利用している場合に動作しない場合がございます。権限があるユーザーを設定することで動作する可能性がありますので、以下の設定を参考にしてください。

1.「Windowsツール」から「サービス」を起動します



2.「サービス」の名から「Smart at tools for kintone CSV入出力」のプロパティを開きます



制限・注意事項4

3.「ログオン」から「アカウント」を選択し、権限があるアカウントを設定して下さい。

(ローカル コンピューター) Smart at tools for kintone CSV入出力のプロパティ

全般 ログオン 回復 依存関係

ログオン:

ローカル システム アカウント(L)
 デスクトップとの対話をサービスに許可(W)

アカウント(T): 参照(B)...

パスワード(P):

パスワードの
確認入力(C):

OK キャンセル 適用(A)



(ローカル コンピューター) Smart at tools for kintone CSV入出力のプロパティ

全般 ログオン 回復 依存関係

ログオン:

ローカル システム アカウント(L)
 デスクトップとの対話をサービスに許可(W)

アカウント(T): 参照(B)...

パスワード(P):

パスワードの
確認入力(C):

OK キャンセル 適用(A)